

令和4年度 学校関係者評価委員会の報告

学校関係者評価委員会 委員長 黒木 美枝

令和4年度の学校関係者評価の結果、以下のとおり報告いたします。

I 重点目標について

富士中では、重点目標として『時代の要請に応じた学力向上に取り組み、学びの充実を図る』『自律と自信を大切にし、学校生活での充足感を味わわせる』『自己の未来への希望と展望をもち、社会の課題解決への意欲を育てる』の3点を挙げ、それぞれに数値目標を設定しています。

『時代の要請に応じた学力向上に取り組み、学びの充実を図る』では学校関係者評価アンケート生徒独自項目『わたしは、意欲的に学習に取り組み、よく考えようとしている。』の肯定的評価80%以上を目指しています。生徒の肯定的評価は79.9%で前年を6.7%上回り、「あまり思わない」「思わない」「わからない」の回答が6.7%減りました。ほぼ目標に近い数値です。また、生徒の『先生は、課題について、自分で考えたり、友達と考えたりする時間を授業の中で取っている。』は90.8%で前年を4.2%上回り、『先生は、生徒の意欲を大切にしている。』は87.7%で、ともに目標の80%を大幅に超えています。引き続き細やかな対応と、生徒自ら考え、課題解決を図ろうとする粘り強い授業創りをお願いします。

『自律と自信を大切にし、学校生活での充足感を味わわせる。』ではアンケートの生徒独自項目『学校生活は達成感がある。』の肯定的評価80%以上を目指しています。生徒の肯定的数値は77.8%で前年度より6.9%増えています。残念ながら目標値には届きませんでしたが、『私は、ルールを重んじ、他者を思いやろうとしている。』は生徒の肯定的評価は84.5%で、『私は、ノーチャイム制によって、時間を意識している。』でも87.0%と、高い数値を示しています。他者に貢献できる基盤は育まれていると読み取れます。「自律」と「貢献」を意識した富士中プライドの醸成に期待します。今後も地域と連携したボランティア活動や体験活動への啓発を進めて下さい。

『自己の未来への希望と展望を持ち、社会の課題解決への意欲を育てる』では学校関係者評価アンケート生徒対象『総合的な学習の時間で学んだことは、自分の生活や将来に活かせると思う。』の肯定的評価80%以上を目指しています。生徒の肯定的評価は77.1%で目標まであと少しです。保護者の『外部講師による授業は、視野を広げることにつながり、よい取り組みだと思う。』の肯定的評価は87.2%で、昨年より2.2%減りましたが、目標をクリアしています。

II 家庭・地域との連携・協働による教育について

地域運営学校に指定されて14年目になりました。クリーン作戦、避難所運営訓練、古着回収、挨拶運動や代沢地区文化スポーツ交流会等の地域活動・ボランティア活動をとおして、地域との交流を図っています。地域貢献活動の場所を、学び舎内の小学校と幼稚園、地域内の児童館に広げ、自己の判断で参加しやすくし、「in（地域の中で）with（仲間と一緒に）for（地域のために）」の取り組みも行われています。今年度は二学期に生徒代表とPTAによる古本回収が行われました。400冊を超える古本が回収され、地域の小学校などに寄付されました。地域アンケート『学び舎の活動について情報が提供されている。』の肯定率が83.4%と昨年より9.5%増えました。『学校協議会や合同学校協議会が役割を果たしている。』の肯定率も、83.3%と昨年より18.9%増えました。ともに大幅に増えた理由は、3年ぶりに合同学校協議会を富士中学校が計画し実施したことによるものが大きかったと思い

ます。また、生徒のボランティア活動も活発で、代沢地区の古着回収や池尻地区の清掃活動（池尻・三宿クリーンDAY）などに多くの生徒と教職員が参加していることも富士中のすばらしさだと思います。今年度もコロナ禍より、家庭・地域との連携・協働を図れなかったものもありましたが、次年度も、こうした活動の再開・促進を望みます。

Ⅲ 「世田谷9年教育」で実現する質の高い教育活動の推進

富士中は学習の「質と量」を常に大切にしています。質としては、数学・英語における「少人数習熟度別授業」の実施、教員による授業研究・授業観察を実施し、指導方法の工夫に取り組んでいます。併せて各教科において「ICT活用授業」の推進を図っています。アンケートの生徒独自項目『漢字検定、数学検定、英語検定のためのキャリアアップ講座や放課後学習・学習相談は富士中生にとって役立つ取り組みだと思う。』では生徒の肯定的数値は85.6%で高評価でした。さらに、夏季補習教室・区土曜講習会・朝学習や「コミュニケーションタイム」等も定着しています。量としては、授業時数の確保に努めています。

世田谷9年教育にのっとり「キャリア・未来デザイン教育」として小学校3校と多聞幼稚園、富士中とで計画的に連携が行われており、活動は継続され、安定しています。しかし、生徒の学び舎に関しての『学び舎の小学校に行ったり、小学生が来たりする機会がある。』のアンケート結果では、「あまり思わない」「思わない」「わからない」の否定的回答の数値が45.1%でした。保護者の『本校は、近隣の（幼稚園）小・中学校で構成する「学び舎の区立（幼稚園）・小学校について、情報が提供されている。』は65.1%が否定的な回答でした。そのうち、「わからない」の数値は23.3%でした。情報提供の方法に工夫が今後の課題です。また、教職員アンケートの『本校（私）は、「学び舎の区立（幼稚園）・小学校について、情報が提供されている。』も否定的回答の数値が49.0%でした。コロナ禍で、学び舎の子どもが触れ合う機会が以前より少ない状況を先生方も残念に感じているようです。しかし、地域の『「学び舎」の活動について、情報が提供されている。』の肯定率は83.4%と高く、昨年度より9.5%増えました。これは、合同学校協議会の実施や富士中学校避難所運営訓練への地域住民の方の参加など、大人が触れ合う機会が復活したことが理由ではないかと考えられます。「富士中だより」～学び舎通信～欄に、毎回情報が載っています。また、ホームページからも情報提供が行われています。ご確認頂ければと思います。今後、子どもの触れ合いが復活できる状況になることが前提となりますが、学び舎の連携がより深くなるように期待します。

今年度「新入生児童・保護者説明会」は10月に開催されました。生徒の力で作り上げた富士中PR動画はとても好評でした。富士中PTAによる「ツアーガイド」も昨年同様好評でした。参加された富士中PTAの皆様に感謝いたします。入学に関しての相談も随時受け付けています。様々な学び舎の取り組みと、情報提供の継続を今後も願います。

広報活動・情報提供については保護者の『本校は、様々な便りなどで、保護者に情報を提供している。』の肯定的数値は86.0%でした。地域の『学校からのお知らせ（学校だより）などにより、学校の様子がわかる。』は91.7%で、ともに高数値でした。しかし、保護者の『本校は、地域に情報を提供している。』では51.1%の保護者が「あまり思わない」「思わない」「わからない」の否定的な回答をしています。保護者・地域の情報交換に工夫が必要と思われます。

1年生の河口湖、3年生の修学旅行はともに実施できました。2年生はコロナ禍の影響で職場体験学習は今年も中止になりましたが、1月に鎌倉校外学習が行われました。今できる事を工夫して努力しています。重点目標である『時代の要請に応じた学力向上に取り組み、学びの充実を図る』ことや『自律と自信を大切にし、学校生活での充足感を味わわせる』こと、これら「質と量」を大切にする取り組みは、今後も維持に努めてください。

さらに、ゲストティーチャーの講義は毎年工夫されており、進路指導（キャリア教育）に活かされています。また、『部活動は、楽しい。』の生徒・保護者の肯定的数値はともに75%を超える数値です。今後も保護者会での部活動の説明や「部活動紹介」の実施、「仮入部期間」の説明など、より丁寧な対応をお願いします。

Ⅳ 信頼と誇りのもてる学校づくりについて

学校についてのアンケートでは、生徒の『先生は、課題について、自分で考えたり、友達と考えたりする時間を授業の中で取っている。』と『先生は、生徒の意欲を大切にしている。』では生徒の評価はいずれも85%以上の高評価でした。『本校は、子どもの意欲を大切にしている。』の保護者の肯定的数値は76.7%で、昨年より7.3%下がりました。また、『先生たちは、生徒が相談しやすい。』は生徒66.9%、『本校は、子どもや保護者が相談しやすい。』は保護者74.5%で、ともに昨年よりわずかに数値が下がっています。生徒への優しく手厚い対応と保護者への情報提供が必要かと思われます。

安全管理については、『本校は、安全な学校づくりを進めている。』の肯定率は、保護者の76.7%、地域91.7%でした。また、保護者の『本校は、避難訓練やセーフティー教室などで、子どもに安全に関する指導をしている。』の肯定率は86.0%でした。生徒への教育活動については高評価でした。地域の『学校は、安全性を高めようと地域と協力している。』は75.0%でした。自然災害時の情報提供について保護者の『本校は、自然災害時の対応を子どもや保護者に提供している。』は昨年の76.9%から74.4%に下がりました。地域との連携や保護者への更なる情報提供が必要と思われます。定期的に行われている安全指導や避難訓練、地域との連携による避難所運営訓練、災害時対応など、保護者・地域の方々とともに、安心・安全な学校づくりへ更なる努力と、密な連携をお願いします。

『本校は、ホームページやメールなどで、保護者に情報を提供している。』は保護者87.2%でした。『学校のホームページに、学校からのお知らせや学校生活の様子がわかる情報が掲載されている。』は地域83.3%でした。保護者・地域ともに昨年度よりプラスになり、高い評価でした。広報活動や情報発信に引き続き努力をお願いします。

学校図書館を読書センターと学習センターの両面で機能させていく取り組みは定着し、パソコンも設置されeラーニングもでき、図書館利用の生徒は増えています。しかし、『私は家庭で宿題やeラーニングなどで学習をしている。』では生徒・保護者ともに5割強の肯定的評価でした。区推奨のAI型教材「キュービナ」活用の影響もあるかと思われます。コロナ禍において、常に工夫が求められる状況です。学校運営の今後の取り組みに期待します。また、道徳授業地区公開講座などの土曜授業日への保護者・地域の参加促進を図る「知らせる取り組み」は今後も継続をお願いします。保護者・地域の皆様が学校に足を運ぶ事はとても重要な事です。

Ⅴ 安全安心と学びを充実する教育環境の整備

昨年度は、校舎の耐震補強工事が行われました。また、1階に自動検温器も配備されました。今年度は大きな整備はありませんでしたが、校内現況や衛生面など更なる安全確保の向上に向け地域・保護者・学校の共通の認識を深めるための工夫・改善の継続を図ってください。

Ⅵ 学校生活全般について

スクールカウンセラーによる相談活動の充実を図る取り組みは定着していて、個に応じた対応ができています。毎年1年生対象に「全員面接」も行われ、「富士中だより」に毎回掲載されている（教育相談・スクールカウンセラーより）は生徒・保護者の皆様に向け情報提供されています。

学校全般についての質問項目、学校行事についての『学校行事は、楽しい。』では生徒・保護者ともに9割以上の

肯定的評価でした。生徒は92.6%と昨年度より7.6%増えました。保護者は95.3%と昨年度より3.7%増えました。学校・保護者・地域に見守られ成長していく子どもたちの様子が見て取れます。「学校が好きで、友達と一緒に学べるのが楽しい」と思える環境作りや丁寧な個々への対応になお一層の尽力をお願いします。

VII 学校評価委員会の総合所見

評価委員会としては、まず先生方の日常の努力に感謝いたします。

- 1 教職員による自己評価アンケートの内容はかなり具体的で、改善策が打ち出しやすい形式になっています。また、『豊かな人間性と教育への情熱をもつ教職員』『協力し、助けあえる教職員』『自己を高める意欲の旺盛な教職員』『生徒のモデルとなる教職員』という「めざす教職員像」を打ち出し、地域の学校として意欲的に取り組んでいることがわかります。
- 2 今年度もコロナウィルスの影響で、誰もが経験したことのない現実と向き合っています。行動に制限があるなかでも、ほとんどの生徒たちは富士中が好きで、楽しく学校生活を送っていることがわかります。しかし『学校生活は、楽しい。』の生徒否定的数値は10.2%でした。生徒に対してより丁寧な対応が必要です。また、『私は、家庭で宿題やe-ラーニングなどで学習をしている。』『学び舎の小学校に行ったり、小学生が来たりする機会がある。』『私は、体力の向上や健康な生活に取り組んでいる。』などの「わからない」という回答の多かった結果への今後の工夫と改善の努力を望みます。生徒たちにとって最大の教育環境は教師自身の姿そのものであり、人間としての豊かさや広い分野での教養を求められると思います。学習面でも「質と量の確保」をこれからも続けていただくとともに、生徒たちと向き合う時間の確保にも尽力をお願いしたいと思います。また、各御家庭・地域の皆様におかれましても、手本となる良き家庭環境・地域環境として温かく子どもたちを見守っていただきたいと思います。
- 3 「富士中だより」に、「先輩通信」が掲載されています。時折掲載される卒業生からの体験談は進路に役立つ貴重な情報です。在校生へエールを贈るこの取り組みの継続をぜひお願いします。
- 4 アンケート自由記述の要望から標準服見直し検討委員会が設立され、今年度1年生から新標準服になりました。また、服の日を増やしてほしいとの要望もありました。アンケート結果の統計だけでなく子どもたちの声を生かした今後の取り組みに期待します。
- 5 学校を取り巻くいろいろな環境が、年々、整備かつ改善されていることを評価いたします。なお、継続する課題につきましては、引き続き検討をお願いします。

学校関係者評価委員会	委員長	黒木 美枝
	委員	森 奈弓
	委員	三島 祥子
	委員	中村みどり
	委員	樋口 暁子
	委員	池田 孝子
	委員	北村 優奈